USB2-W31RWシリーズ

取扱説明書

M-MANU200411-01

このたびは、「USB2-W31RWシリーズ」(以下、「本製品」と表記します。)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

箱の中には

ご使用の前に以下のものがそろっていることをご確認ください。万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。
※箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご利用ください。

- □ 専用USBケーブル(1本、約50cm)
- ☑ 取扱説明書(1枚)(本書)
- □ 本製品(1台)

製品の裏面

■ユーザー登録とサポートソフトのダウンロードについて
ここにシリアル番号(S/N)をメモしてください。

シリアル番号(S/N)は本製品に貼られているシールに「ABC0987654ZX」のように印字してあります。
●シリアル番号(S/N)は、ユーザー登録の際に必要です。
http://www.iodata.jp/regist/
弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にも必要です。
http://www.iodata.jp/lib/

対応機種とOS

本製品をWindows2000(ServicePack 2まで)/98(Second Edition含む)/Mac OS 9.0.4～9.2.2でお使いになる場合のみ、デバイスドライバのインストールが必要です。Windows Vista™、XP、2000(Service Pack 3以降)、Me、Mac OS Xでは必要ありません。
●デバイスドライバは弊社ホームページよりダウンロードしてください。
http://www.iodata.jp/lib/

本製品はサスペンド、スタンバイ、スリープ、休止状態などの省電力モードには対応しておりません。

■本製品の動作環境
本製品を使用できるパソコンおよび環境は以下の通りです。
お使いの機種や環境を再度ご確認ください。

対応機種	USB2.0またはUSB1.1ポートを標準搭載、あるいは弊社USBインターフェイスボードを搭載した DOS/Vマシン　または Apple iMac、iBook、PowerMacintosh G3、Mac mini、PowerMac G4、G4 Cube、G5、PowerBook G3、G4、MacBook Pro、MacBook(Intel製CPU搭載Mac含む)
対応OS(Windows)(日本語版)	Windows Vista™、Windows XP x64 Edition、Windows XP、Windows 2000 Professional※1 Windows Me、Windows 98(Second Edition含む)※1
対応OS(Macintosh)(日本語版)	Mac OS 9.0.4～9.2.2※1 Mac OS X 10.1.2～10.1.5、10.2～10.4.9

※ USB1.1対応USBポートで使用した場合には、USB1.1となります。
※1 Windows 2000(SP2まで)/98(Second Edition含む)/Mac OS 9.0.4～9.2.2は事前にデバイスドライバのインストールが必要です。
デバイスドライバのインストール方法については、画面で見るマニュアルをご覧ください。
デバイスドライバおよび画面で見るマニュアルは弊社ホームページよりダウンロードしてください。

■ 必ずお読みください ■

●お買い上げ時のレシートはご購入日を証明するものですので、大切に保管してください。
詳しくは裏面の【保証規定】をご覧ください。
●本製品を使用中にデータが消失、破損したことによる被害については、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
●万が一に備えて、大切なデータは、他のメディア(MO ディスクやハードディスクなど)に定期的にバックアップを行ってください。

各部の名称

USB接続端子	USBケーブルの小さい方のコネクタを接続します。
Readyランプ(赤色)	パソコンのUSBポートに接続し、スロットにメディアを入れると点灯します。●消灯時:メディアが未挿入です。●点灯時:メディアが挿入されています。●点滅時:メディアに読み書き中です。
スロット1～4	メディアを差し込みます。スロット1:メモリースティック/メモリースティック PRO メモリースティック Duo/メモリースティック PRO Duo メモリースティック Micro※ スロット2:microSDカード(Trans Flash) スロット3:SDHCメモリーカード/SDメモリーカード/マルチメディアカード miniSDHCメモリーカード/miniSDカード/RS-MMC スロット4:スマートメディア/xDピクチャーカード スロット5:コンパクトフラッシュ/マイクロドライブ

※別途アダプターが必要です。

対応アプリケーション

アプリケーションと画面で見るマニュアルは弊社ホームページよりダウンロードしてください。
インストール方法・使い方の詳細は画面で見るマニュアルを参照ください。

●「Media Ejector」でドライブ操作が容易(Windows専用)
「Media Ejector」をインストールすれば、以下のような機能が使用できます。

■エクスプローラやマイコンピュータの「取り出し」の機能が使えます。
※メディアが自動排出されるわけではありません。

■リムーバブルディスクアイコンやラベルをメディアアイコンやドライブ機能ラベル表示に変更することができます。
ドライブを容易に見分けることができます。
※環境によりアイコンやラベルが変わらない場合があります。
※Windows Vista™/XP x64 Edition/XP/2000/Me/98でお使いいただけます。
(Windows XPではSP1以降、Windows 2000では、SP3以降が必要です。)

■ドキュメントファイルを右クリックした時に表示される「送る」に本製品のドライブが入ります。メディアに直接、ファイルを転送したい場合に便利です。

●「Media Assign」でドライブ名の変更・固定ができる(Windows専用)
■「Media Assign」は、各スロットのドライブ名を指定のドライブ名に固定させるためのユーティリティです。
●例えば、スロット1を「M:」と設定してしまえば、それ以降は、パソコンを再起動しても、リーダーライターを抜き差ししてもドライブ名が変更されないので、カードの誤操作を防ぐことができ、使い勝手も向上します。
●システム構築も簡単に行うことができます。
弊社製カードリーダーライター製品※1を複数お持ちの場合でも、それぞれの製品で各スロットのドライブ名を固定できるので、さらに便利に活用できます。
●「Media Assign」は常駐アプリケーションではないため、一度設定してしまえば、その後は変更を行うまで使用する必要はありません。
※1 「Media Assign」が対応している製品に限ります。
※同じ製品を複数台接続してお使いいただくことはできません。
※頻繁にデバイス(USBハードディスクなど)を抜き差しせず、ドライブ構成にあまり変化がない環境でドライブ名を変更(固定)する場合に使用します。
※Windows Vista™/XP x64 Edition/XP/2000/Me/98でお使いいただけます。
(Windows 2000では、SP3以降が必要です。)

●画面で見るマニュアルの参照方法(Windows)
①ダウンロードし、解凍したフォルダ内の[Autorun]をダブルクリックしてください。
②[画面で見るマニュアル]をクリックします。

●画面で見るマニュアルの参照方法(Macintosh)
①ダウンロードし、解凍したフォルダ内の[Manual]フォルダ→[index.html]をダブルクリックします。

1 パソコンとの接続

本製品をWindows2000(ServicePack 2まで)/98(Second Edition含む)/Mac OS 9.0.4～9.2.2でお使いになる場合は、先にデバイスドライバのインストールが必要です。
インストール方法はオンラインマニュアルを参照ください。
●デバイスドライバおよび画面で見るマニュアルは弊社ホームページよりダウンロードしてください。
http://www.iodata.jp/lib/

●Windows2000のバージョンを確認する

① マイコンピュータを右クリックしてプロパティをクリックします。

② 全般タブの「システム」の項目を確認します。

以下はWindows XPの場合です。
Windows Vista™/2000(SP3以降)/Mac OS X の場合も同様の手順でお進みください。
※Windows 2000(SP2まで)/98(Second Edition含む)/Mac OS 9.0.4～9.2.2はデバイスドライバのインストール後に以下を行ってください。

① パソコンの電源を入れ、Windows XPを起動します。
コンピュータの管理者の権限のあるアカウントでログオンしてください。

② パソコンに接続する
❶ 付属のUSBケーブルの小さい方のコネクタを本製品のUSB接続端子に接続します。
❷ 大きい方のコネクタはパソコンのUSBポートに差し込みます。
スロットにはまだメディアを入れないでください。

●USBコネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。
●パソコンのUSBポートの位置は、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。
●ご利用の環境によっては、USBハブに接続して使用できない場合があります。その場合はパソコン本体のUSBポートに接続してください。

③ ハードウェアが認識され、自動的にインストールされます。
以上でインストールは終了です。
次は本製品が正常に認識されていることを確認します。

④ [スタート]-[マイコンピュータ]をクリックします。
※Windows Vista™をお使いの場合は、
[スタート]-[コンピュータ]をクリックします。
※Windows 2000/Me/98(Second Edition含む)をお使いの場合は、
[マイコンピュータ]をダブルクリックします。

⑤ [リムーバブルディスク]が5つ追加されていることを確認します。
割り当てられるドライブ名はお使いの環境によって異なります。

確認

2 メディアを入れる

Windowsの場合

① 下図のようにスロット位置・メディアの向きを確認し、スロットに水平にまっすぐに入れます。

●「xD-ピクチャーカード」「スマートメディア」「miniSDカード」は金色端子面を上にして入れます。その他のメディアはラベル面を上にして入れます。
●異なったスロットに挿入した場合、スロットを破損する可能性がありますので、各専用スロットに正しく挿入してください。

■メディアとスロット位置

メディア	アイコン	スロット位置
メモリースティック メモリースティック PRO メモリースティック Duo メモリースティック PRO Duo メモリースティックMicro※	PRO MEMORY STICK DUO	左上
microSDカード(Trans Flash)	micro SD	PUSH 中央上 Push式
SDHCメモリーカード SDメモリーカード miniSDHCメモリーカード miniSDカード マルチメディアカード RS-MMC	mini SD SD MMC RS-MMC	右上
スマートメディア xD-ピクチャーカード	SM xD	左下
コンパクトフラッシュ マイクロドライブ	CF Microdrive	右下

●メディアの抜き差しは、本製品を手で押さえて行ってください。
●同時に使用できるメディアは各スロットに1枚です。
※別途アダプターが必要です。

❷手で最後まで押し込みます。
「Readyランプ」が点灯します。

●本製品を接続中に「Readyランプ」が点滅している時は、メディアにアクセスしていますので、絶対にメディアは抜かないでください。
●「microSDカード」スロット(スロット2)はプッシュ式コネクタを搭載しています。カチッとロックがかかるまでメディアを押し込んでください。

Macintoshの場合

メディアの入れ方は、「2メディアを入れる」を参照してください。

■デスクトップに表示されたアイコン

●「xDピクチャーカード」およびスマートメディアの場合、認識するまで20秒ほど要します。
●メディアのフォーマット状態によってドライブアイコンの名称が変わります。

参考
デスクトップ上にアイコンが表示されない場合は
➡画面で見るマニュアル【困ったときには】を参照してください。

3 メディアの読み書き

メディアはリムーバブルディスクとして、ハードディスクと同様に読み書きできます。

●本製品でメディアのフォーマットは行わないでください。
●フォーマットはお使いの機器(デジカメなど)で行ってください。

対応メディア

SDHCメモリーカード※1		弊社製SDHCシリーズ, Panasonic 製, SanDisk 製
SD メモリーカード※1	SD メモリーカード(ハイスピード)	弊社製(SDシリーズ/SD10シリーズ/SD20シリーズ/SDPシリーズ/SD20H-Aシリーズ) Panasonic 製、東芝製、SanDisk 製
	SD メモリーカード(スタンダード)	
miniSDHCメモリーカード※1		Transcend 製
miniSD カード※1		弊社製 SDMシリーズ、Panasonic 製、東芝製、SanDisk 製
microSD カード(Trans Flash)※1※2		弊社製 SDMCシリーズ、SanDisk 製
メモリースティック※3	メモリースティック	弊社製(MSMシリーズ/MSRシリーズ/PCMSシリーズ)、SONY 製
	マジックゲート メモリースティック	
	メモリースティック(マジックゲート&高速データ転送)	
	メモリースティック(メモリーセレクト機能付き)	
	メモリースティック ROM	
メモリースティック PRO※3	メモリースティック PRO	SONY 製
	メモリースティック PRO HighSpeed	
メモリースティック Duo※3	メモリースティック Duo	SONY 製
	マジックゲート メモリースティック Duo	
	メモリースティック Duo(マジックゲート&高速データ転送)	
メモリースティック PRO Duo※3	メモリースティック PRO Duo	SONY 製
	メモリースティック PRO Duo HighSpeed	
メモリースティック Micro※3※4		SONY 製
xD- ピクチャーカード	xD- ピクチャーカード	FUJIFILM 製、OLYMPUS 製
	xD- ピクチャーカード(TypeM)	FUJIFILM 製、OLYMPUS 製
	xD- ピクチャーカード(TypeH)	FUJIFILM 製、OLYMPUS 製
マルチメディアカード	MMC	弊社製(MMC2シリーズ/PCMMCシリーズ)
	MMC 4.0	KingMax 製
RS-MMC	RS-MMC	弊社製 RSMMCシリーズ、SanDisk 製
	RS-MMC 4.0	KingMax 製
コンパクトフラッシュ※5(Type I、TypeII、CF 型 HDD)		弊社製(CFXシリーズ/CFSシリーズ/CF40シリーズ/CF85シリーズ/CF115シリーズ/PCCFシリーズ)
マイクロドライブ		弊社製 CFMDシリーズ、日立GST製
スマートメディア※6(3.3Vのみ)		弊社製(SMCシリーズ、PCFDC2/3)シリーズ

※1 著作権保護機能には対応しておりません。
※2 microSD カードは、SD メモリーカード等とは別のドライブになります。
※3 マジックゲート機能には対応しておりません。
※4 別途アダプターが必要です。
※5 I/O系(モデム・LAN等)、CF+には対応しておりません。
※6 5Vメディア、ID機能には対応しておりません。

最新の対応メディア・対応容量については
弊社ホームページまたは弊社総合カタログをご覧ください。
http://www.iodata.jp/rw

●Mac OS X 10.1、10.2でSDHCメモリーカードをお使いの場合は、SDHCメモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしてください。SDHCメモリーカードが認識しなかったり、Mac OS Xが止まってしまうおそれがあります。

4 メディアを取り出す

「Readyランプ」が点灯状態であることを確認します。
メディアの取り出しは、お使いのOSにより画面が異なります。
以降の手順に従い、メディアを取り出します。

Windowsの場合

[マイコンピュータ]の「取り出し」を使って取り出す場合
※メディアが自動排出されるわけではありません。

① [スタート]-[マイコンピュータ]をクリックします。
※Windows Vista™をお使いの場合は、
[スタート]➡[コンピュータ]をクリックします。
※Windows 2000/Me/98(Second Edition含む)をお使いの場合は、[マイコンピュータ]をダブルクリックします。

② 該当する[リムーバブルディスク]アイコンを右クリックして、表示された[取り出し]をクリックします。

Windows XP SP1の画面例▶

●本製品を接続中に「Readyランプ」が点滅している時は、メディアにアクセスしていますので、絶対にメディアは抜かないでください。
●上記の手順を行わずに、メディアを取り出そうとすると予期しない障害が発生する可能性があります。必ず上記の手順を行ってください。

●本製品ではメディアのフォーマットは行わないでください。
フォーマットはお使いの機器(デジカメなど)で行ってください。

[Media Ejector]を使って取り出す場合
※メディアが自動排出されるわけではありません。
「Media Ejector」の使い方の詳細は画面で見るマニュアルを参照ください。

Macintoshの場合

① 本製品の接続中に「Readyランプ」が点滅していないことを確認し、ドライブアイコンをゴミ箱に捨てます。

●「xDピクチャーカード」およびスマートメディアの場合、消えるまで20秒ほど要します。

② ドライブアイコンが消えたことを確認します。
③ メディアを取り出します。

●Mac OS X 10.2以降をご使用の場合に、メディアを2枚以上差した状態で「Apple System Profiler」を起動すると予期しないエラーが発生する可能性があります。

取り出す

① 「Readyランプ」が点滅していないことを確認し、メディアをつまんで取り出します。

●microSDカードの場合はメディアをいったん押し込みます。
この操作でロックを解除してから、つまんで取り出します。

5 本製品の取り外し方

メディアを抜いてから下記の要領で本製品を取り外してください。

●パソコンの電源が入っていない状態：
そのまま本製品のUSBケーブルを抜いてください。

●パソコンの電源が入っている状態：
取り外す方法はOSにより異なります。お使いのOSの「終了手順」を行って、本製品のUSBケーブルを抜いてください。

注意
●以下の手順を行わずに本製品を取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。必ず以下の手順を行って本製品を取り外してください。
●以下の手順で取り外せない場合は、パソコンの電源を切ってから取り外してください。

❶ 画面右下のタスクトレイのアイコンをクリックします。
※Windows 98SEの場合は【4 メディアを取り出す】を参照して、メディアを取り出してから本製品のUSBケーブルを抜きます。

Windows Vista™の場合
Windows XP x64 Edition/Windows XPの場合
Windows 2000の場合
Windows Meの場合

❷ 表示されたメッセージをクリックします。

Windows Vista™の場合
USB 大容量記憶装置 - ドライブ (E:, F:, G:, H:, I:) を安全に取り外します

Windows XP x64 Edition/Windows XPの場合
USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:, F:, G:, H:, I:) を安全に取り外します

Windows 2000の場合
●ドライバをインストールしていない場合
USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:, F:, G:, H:, I:) を停止します
●ドライバをインストールした場合
I-O DATA USB2-W31RW デバイス - ドライブ (E:, F:, G:, H:, I:) を停止します

Windows Meの場合
USB ディスク - ドライブ (E:) の停止
USB ディスク - ドライブ (F:) の停止
USB ディスク - ドライブ (G:) の停止
USB ディスク - ドライブ (H:) の停止
USB ディスク - ドライブ (I:) の停止

❸ 確認メッセージをクリックします。

Windows Vista™の場合
ハードウェアの取り外し
このデバイスはコンピュータから安全に取り外すことができます。
OK

Windows XP x64 Edition/Windows XPの場合
ハードウェアの取り外し
'USB 大容量記憶装置デバイス' は安全に取り外すことができます。

Windows 2000の場合

Windows Meの場合

Windows Meの場合は、上記 ❶ ～ ❸ の手順を5回繰り返します。

❹ 本製品を取り外します。（本製品のUSBケーブルを抜きます。）

安全にお使いいただくために

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告および注意事項

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷など人身事故の原因となります。	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が軽傷または周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

■絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
＜例＞「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

＜例＞「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
＜例＞「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠警告

厳守
本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

分解禁止
本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。
火災や感電、やけど、故障の原因となります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

発火注意
煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

発火注意
本製品の取り扱いは、必ず取扱説明書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。
ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。

水濡れ禁止
本製品を濡らさないでください。
お風呂場、雨天・降雪中、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。

⚠注意

注意
本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。
故障に備えて定期的にバックアップを行ってください。

本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。
故障の原因となることがあります。
●振動や衝撃の加わる場所　●直射日光のあたる場所
●湿気やホコリが多い場所　●温度・湿度差の激しい場所
●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
●強い磁力電波の発生する物の近く（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
●水気の多い場所（台所、浴室など）　●傾いた場所
●本製品に通風孔がある場合は、その通風孔をふさぐような場所での使用（保管は通風孔をふさぐようにしてください。）
●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_xなど）
●静電気の影響の強い場所
●保温性・保湿性の高い（じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所での使用（保管は構いません。）

禁止
本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。
●落としたり、衝撃を加えない
●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
●重いものを上にのせない　●そばで飲食・喫煙などをしない
●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

厳守
本製品のコネクタ部分や部品面には直接手を触れないでください。
静電気が流れ、部品が破壊されるおそれがあります。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってください。

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせは、サポートセンターのみで受け付けています。

① 弊社ホームページをご確認ください。

画面で見るマニュアル【困ったときには】で解決できない場合は、サポート Web ページ内の「製品 Q&A、News その他」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

●http://www.iodata.jp/support/

添付のサポートソフトをバージョンアップすると解決することがあります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

●http://www.iodata.jp/lib/

② それでも解決できない場合は…

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　本社…076-260-3661　東京…03-3254-1085
※受付時間　9:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…076-260-3360　東京…03-3254-9055
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体の型番
3. ご使用のOSとサポートソフトのバージョン
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態
（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
① 本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
② 弊社サポートセンターへお問い合わせください。
明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて
修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について
■保証期間中は、無料修理いたします。ただし、保証規定に記載されている「保証適応外」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、保証規定をご覧ください。
■保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
■お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●メモに控え、お手元に置いてください
お送りいただく製品の製品名、S/N（シリアル番号）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください
■本製品
■お買い上げ時のレシート、領収書（ご購入年月日がわかるもの）
■以下の内容を書いたもの
●返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］
●日中にご連絡できるお電話番号
●ご使用環境（機器構成、OSなど）　●故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください
■上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
■輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください
■修理は以下の送付先までお送りください。
※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
■送付の際は、紛失等を避けるため、**宅配便か書留郵便小包**でお送りください。

【送付先】〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター 宛

修理品の返送

■修理品到着後、通常約1週間ほどで弊社より返送できます。
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

保証規定

①保証内容
取扱説明書・本体添付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げ時より12カ月、無料修理または、弊社の判断により同等品への交換いたします。修理のため交換された本体もしくはユニット単位の部品はお返しいたしません。

②保証対象
保証の対象となるのは製品の本体部分のみで、添付ソフトウェアもしくは添付の消耗品類は保証の対象とはなりません。

③修理依頼
修理を弊社へご依頼される場合は、製品とお買い上げ時のレシートを弊社へお持ち込み頂けますようお願いいたします。送付される場合は、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせて頂きます。また、発送の際は必ず宅配便をご利用頂き、輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用頂き、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。

④保証適応外
次の場合は有料修理となります。
1) ご購入日から保証期間が経過した場合。
2) 修理ご依頼の際、お買い上げ時のレシートのご提示がいただけない場合。
3) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害、その他の天変地変、公害または異常電圧による故障もしくは損傷。
4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃などお取り扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷。
5) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷または接続している他の機器に起因する故障もしくは損傷。
6) 取扱説明書の記載の使用方法または注意に反するお取り扱いに起因する故障もしくは損傷。
7) 弊社以外で改造、調整、部品交換などをされた場合。
8) その他弊社の判断に基づき有料と認められる場合。

⑤弊社免責
本製品の故障、または使用によって生じた保存データの消失など、直接および間接の損害について弊社は一切責任を負いません。

⑥保証有効範囲
本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
※本保証書は、本書に明示した期間、条例のもとにおいて無料修理をお約束するものです。本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

使用上の注意事項

●ランプの点滅中は絶対にメディアを抜かないでください。
メディアに記録されている内容が消えたり、メディアが損傷する原因となります。
●本製品は、サスペンド、スタンバイ、スリープ、休止状態の機能には対応しておりません。
●本製品をUSBハブに接続する場合、USBハブの電源は必ずACアダプターを接続し、コンセントから電源を供給してください。
●ご利用の環境によってはUSBハブに接続すると正常に動作しない場合があります。
その場合はパソコン本体のUSBポートに接続する必要があります。
●本製品を取り外す場合は、メディアの取り出し作業を行ってから、本製品のUSBケーブルをパソコンから取り外してください。
●本製品を同時に複数台ご使用いただくことはできません。
●本製品と他のリーダー/ライター製品と差し替える場合は、抜いた後10秒程待ってから差し替えてください。
●製品本体にスジのように見える箇所がある場合がございますが、これは、樹脂形成上の「ウエルドライン」と呼ばれるものであり、ひびや傷ではありませんので、問題なくご使用いただけます。
●メディア内のデータは万一に備えて定期的にバックアップを行うことをおすすめします。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/
2007.4.17 発行